特定保守製品

※法定点検が必要な製品です。

形名

EW-45L1シリーズ
EW-45H1シリーズ
EW-45V1シリーズ
EW-45R1シリーズ

三菱食器洗い乾燥機

販売店・据付業者様用

据付説明書

＜特定保守製品に関するお願い＞

■本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
■特定保守製品とは、経年劣化により家屋・身体に危害をおよぼすおそれがあるため、所有者は点検期間に点検を行う（有償の法定点検）などの保守を行うことが求められている製品です。
■消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、製品の製造・輸入事業者（特定製造事業者など）に対し、所有者情報を提供する責務（消安法第32条の８第１項）が定められています。

＜販売事業者様へ＞

■付属の取扱説明書と所有者票（本体に同梱）は、所有者（消費者、賃貸業者）に必ずお渡しください。
■所有者（消費者、賃貸業者）へ所有者票に記載の法定説明事項をご説明いただく義務（消安法第32条の５第１項）と、所有者登録にご協力いただく責務（消安法第32条の８第３項）が定められていますので、ご協力をお願い致します。

＜据付をされる方へのお願い＞

- 特定保守製品を設置する際に、所有者に対して、点検期間中に点検を行うことが必要であるとともに、特定製造事業者などに所有者情報の提供（登録・変更）をしているか、登録や変更がなされていないようであれば、その必要性をお伝えください（特に、引越に伴う移設やリフォーム工事の際）。
- この製品は、（一般財団法人）電気安全環境研究所（JET）より『給水装置の構造及び材質の基準に関する省令（厚労省令）』に適合するとの証明を受けています。給水装置への接合に際し、逆止弁などの設置の必要はありません。なお、JETは、厚労省の「給水装置に係る第三者認証機関の業務等の指針」に示された要件を備えた第三者機関のひとつであり、他に（公社）日本水道協会などがあります。
- 給水装置工事（配管工事）は、各市町村にて施工承認を受けた後、指定工事業者が施工してください。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（不具合が発生した場合、保証期間内でも無償保証できません。）
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために正しい据付けが必要です。
  据付前にこの据付説明書を必ずお読みください。
- この据付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
  据付説明書の内容にしたがわずに取り付けを行ない発生した事故・損害は、一切責任を負えません。
- 据付終了後、直ちにP16～19の試運転とP19の9. 据付後の確認（チェックリスト）に基づいて必ず再確認を行ってください。
- 据付に関して不明な点がありましたら当社へご相談ください。

● この据付説明書は据付終了後、お客様へ必ずお渡しください。

もくじ

安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

● 図記号の意味は次のとおりです。

 禁止事項

 分解禁止

 火気禁止

 ぬれ手禁止

 水かけ禁止

 指示を守る

 アース線接続

⚠警告

分解禁止

分解したり修理･改造しない

発火したり異常動作して
火災･感電･けがの原因
●修理は販売店へご相談ください。

水かけ禁止

水につけたり､水をかけたりしない

ショート･感電の原因

禁止

電源コード･電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり､加工したり､熱機具に近づけたり､無理に曲げたり､ねじったり､ひっぱったり､重いものを載せたり､束ねたりしないでください。）
傷んだまま使用すると､感電･ショート･火災の原因
●コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

禁止

コンセントの差し込みがゆるいときや､電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しない

感電･ショート･発火の原因
●販売店に点検・修理を依頼してください。

禁止

排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷つけない

感電･漏電･火災や水漏れの原因

禁止

交流 100V 以外では使用しない

火災･感電の原因

火気禁止

火のついたローソク､蚊取り線香､煙草などの引火物を近づけない

火災の原因

ぬれ手禁止

ぬれた手で､電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因

禁止

コンセントを床面にころがして､電源プラグを差し込み使用しない

感電･漏電や火災の原因

禁止

電源コードを切断したり､屋内配線ケーブルと直結したりしない

感電･漏電や火災の原因

禁止

延長コードは使わない

発熱による火災の原因

禁止

ビルトインのとき電源コード､アース線､排水ホース､給水ホースに傷をつけない

感電･漏電･火災や水漏れの原因

据付けは､販売店または専門の据付業者に依頼する

据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客様自身で据付けされ不備があると､水漏れや感電･火災･事故の原因

⚠警告

アース線接続

アースを確実に取り付ける
アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」にしたがって第二種電気工事士※がD種接地工事を行う

●故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
●接地(アース)工事に不備があると、漏電時に感電のおそれがあります。
●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」にしたがって第二種電気工事士※が施工し、必ず専用回線を使用する

電源回路容量不足や施工不備があると、漏電・感電・火災の原因

※工場・ビル等への配置で、一定用件を満たす場合は第一種電気工事士

定格 15A 以上のコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因

電源プラグは刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く

火災の原因

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因
●傷んだプラグ・ゆるんだプラグは使用しないでください。

電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む

上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する原因

⚠注意

禁止

凍結のおそれがある場所(室温0℃以下)へは設置しない

水漏れの原因

禁止

元止め式湯沸し器には接続しない

湯沸し器からの水漏れの原因

禁止

止水栓が開いた状態のときは、本機(食器洗い乾燥機)への通電(ブレーカーなど)は切らない

本体の異常監視ができなくなります。
●試運転終了後、本機への通電(ブレーカー)を切る場合は、必ず止水栓を閉めてください。
※引き渡しまで日数がある場合、引き渡しまで止水栓を必ず閉めてください。
止水栓を開く時は、通電してから開いてください。

禁止

排水ホースは切断しない

水漏れの原因

据付部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する

当社指定部品を使用しないと、事故の原因

上下水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施行する

配管破損による水漏れの原因

高水圧地域では減圧弁を必ず取り付ける

水漏れの原因

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く

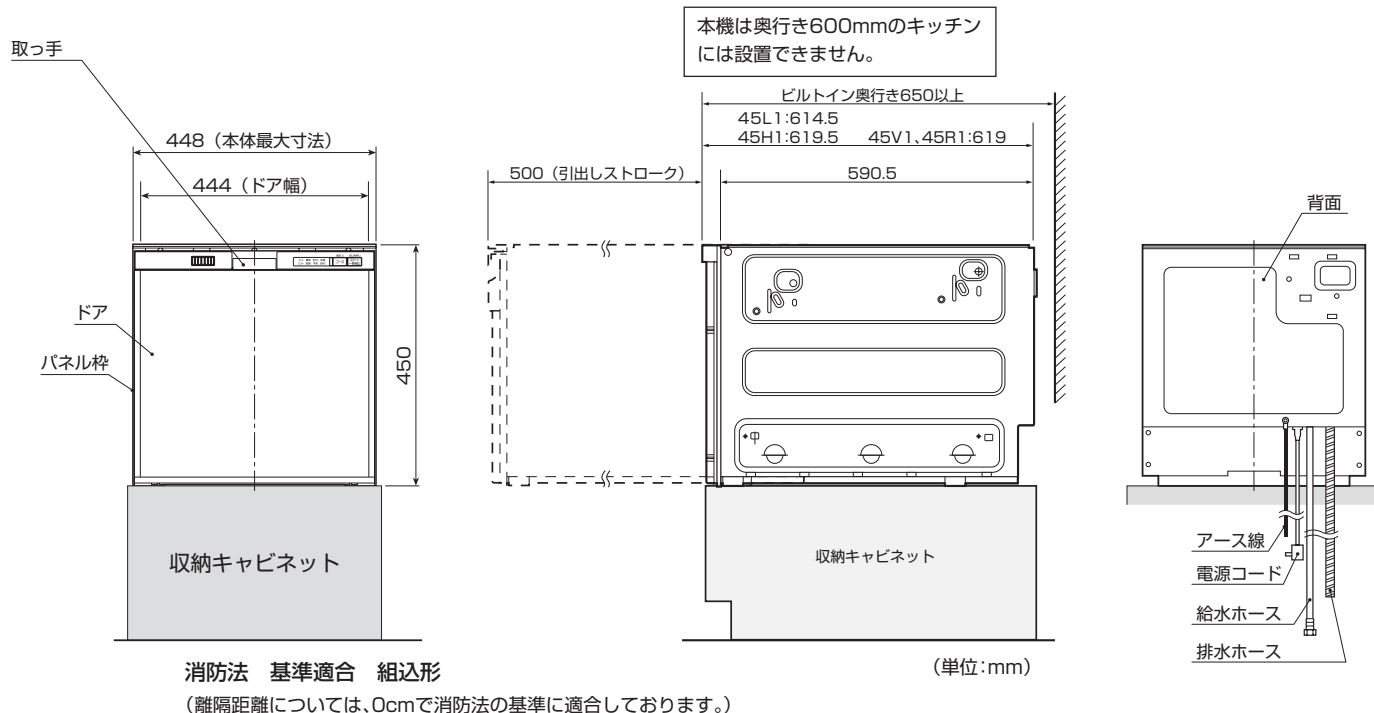
感電・ショート・発火の原因

1 各部の名称と寸法

● 本体および、かごのテープやダンボールなどは全部取り外してください。

※ 本説明書は下図に示す収納キャビネットが事前に設置されていることを前提にしております。

※ 下図はドア構成がパネルタイプのEW-45H1Sをベースとしていますが、寸法関係は面材タイプについても同様です。

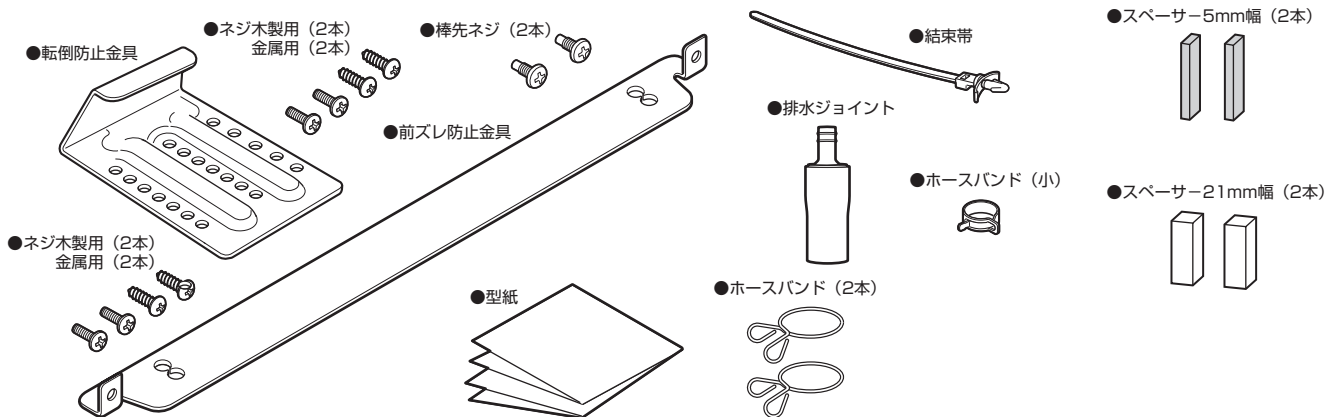
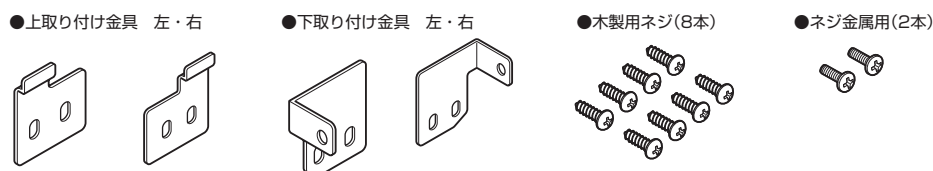
消防法　基準適合　組込形
（離隔距離については、0cmで消防法の基準に適合しております。）

付属品の確認

（ドア用パネル又は面材は別売部品です。）

据付に必要な付属品

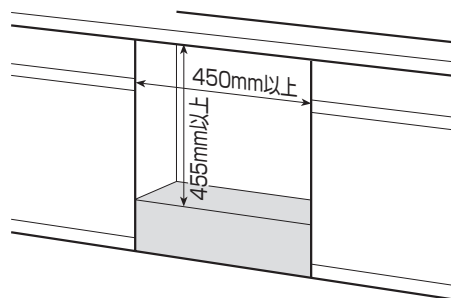
- ●転倒防止金具
- ●ネジ木製用（2本）金属用（2本）
- ●棒先ネジ（2本）
- ●前ズレ防止金具
- ●ネジ木製用（2本）金属用（2本）
- ●型紙
- ●結束帯
- ●排水ジョイント
- ●ホースバンド（小）
- ●ホースバンド（2本）
- ●スペーサー−5mm幅（2本）
- ●スペーサー−21mm幅（2本）

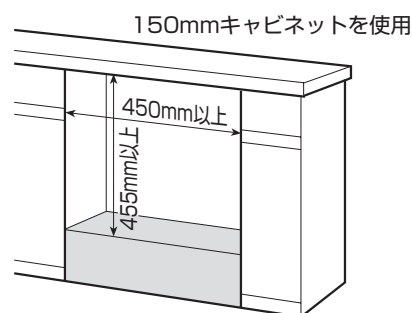
面材用付属品 （面材タイプのみ追加同梱）

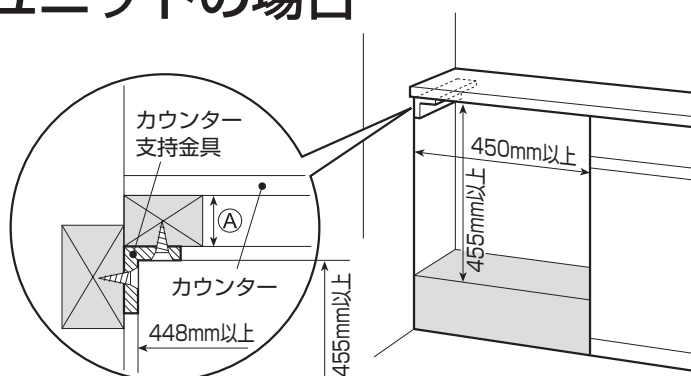
- ●上取り付け金具　左・右
- ●下取り付け金具　左・右
- ●木製用ネジ(8本)
- ●ネジ金属用(2本)

2 設置場所について

● 本機は、奥行き600mmのキッチンには設置できません。

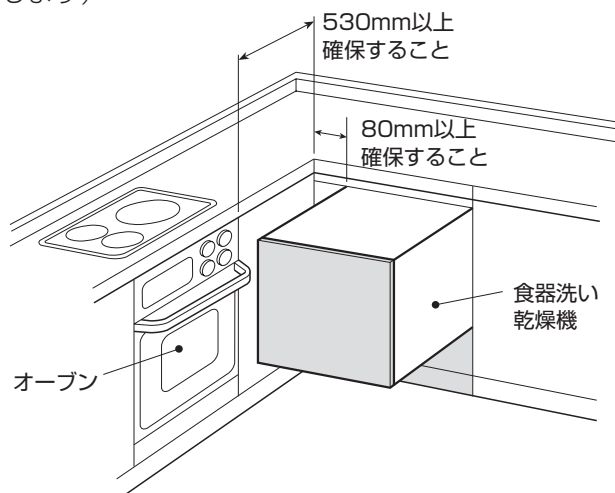
● キャビネットが必ず水平であることを確認してください。

中間にビルトインする場合

片側がフリーの場合

● 片側がフリーの場合、幅150mmキャビネットなどを使用して、カウンターを支える処理をします。

片側が壁面または、トールユニットの場合

● カウンター支持金具は市販のL金具を使用します。
※ 締結ビスの長さは、右図のA寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。
※ 法令：電気設備の技術基準の解釈

● ビルトイン型加熱機器などと並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた場合、たわむことがありますので、補強処置をしてください。（市販のL金具を使用します）

お願い

● L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオーブンなどの取っ手部に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますので、ドア開閉のスペースを確保してください。
● 法令義務により、本機やキッチンの金属部分は、家屋の壁中のラスや金属板に、電気的に接触しないようにしてください。
● 法令：電気設備の技術基準の解釈

3 給・排水工事について

■ 本機が使用できる水道水圧は0.03～1MPa{0.3～10kgf/cm²}の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、0.6MPa{6kgf/cm²}を超える場合は減圧弁を取り付けてください。

■ 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。(不具合が発生した場合、無償保証できません)

■ 本機は(一般財団法人)電気安全環境研究所(JET)より「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(厚労省令)」に適合するとの証明を受けています。
このため、給水装置への接合に際し逆止弁などの設置は必要ありません。各市町村の条例などにより逆止弁を取り付ける場合で、本機の配管の近傍にシングルレバー水栓がある場合は、以下の対応のいずれかを実施してください。

・ シングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付ける
・ 本機の配管に減圧弁を取り付ける。(水栓の急閉止時のウォーターハンマー現象により逆止弁の下流側の本機や本機の配管に異常な高水圧がかかり、本機の故障や水漏れの原因となるためです)

⚠ 注意

高水圧地域では減圧弁を必ず取り付ける

水漏れの原因

上下水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施行する

配管破損による水漏れの原因

■ 本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確にしてください。

・ 給湯(給水)管は硬質塩化ビニルライニング鋼管(相当品)を使用して、断熱材を巻いてください。
・ 排水横枝管に至るまでの接続部分は耐熱塩化ビニル管(HT相当品)を使用してください。
・ 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
・ 給・排水配管の端面はバリの無いよう処理し、かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に取り除いてください。
・ 止水栓(ハンドル形、固定ゴマタイプ)を必ず取り付けてください。

※冬季長期間留守にし、凍結が心配される地域に設置される場合は水抜き栓を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。

〈一般地域仕様〉 〈寒冷地仕様〉
アングル型止水栓

・ 排水管HT20の端面内周に、面取り(C1～2)を施してください。外径外面側は面取り(C0.5～1)をつけるとホースの挿入が容易になります。

お願い

元付け型の浄水器に接続しない

元付け型の浄水器に接続すると、残留塩素濃度が0.1ppm以下(水道法基準は0.1ppm以上と規定されている)となり屋内に給水される水が細菌などに汚染される(バクテリアが繁殖)おそれがあります。

給湯機について

■ 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機などで60℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。
調整不可能な給湯機の場合は、温度調節器(ミキシングバルブ)の接続をおすすめします。

■ 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。本機へ給水されないおそれがあります。

⚠ 注意

元止め式湯沸し器には接続しない

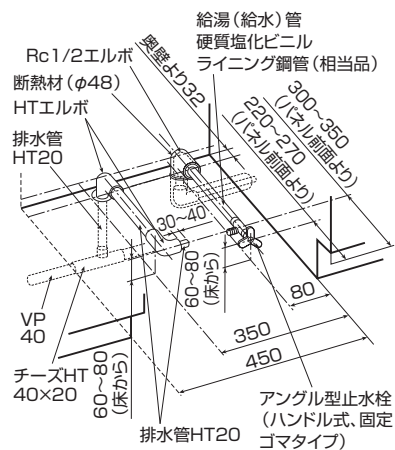
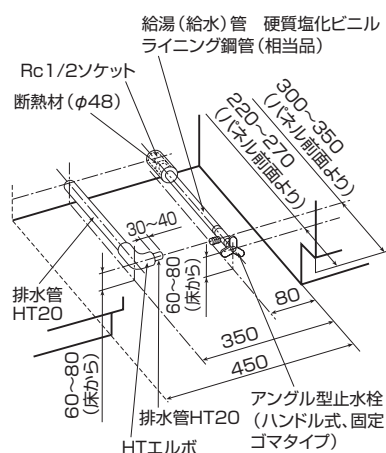
湯沸し器からの水漏れの原因

配管例

● 下記配管例以外の施工をする場合は販売店にご相談ください。

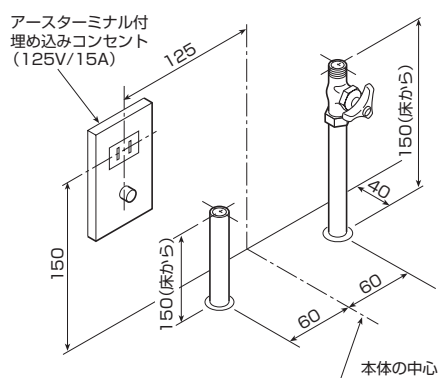
床ころがしの場合

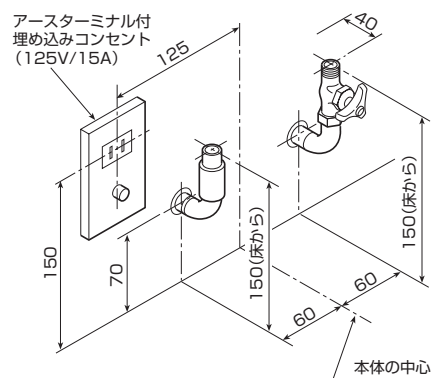
単位：mm

床立上げの場合

単位：mm

壁出しの場合

単位：mm

床立上げの場合

単位：mm

壁出しの場合

単位：mm

3 給・排水工事について（続き）

配管例

● 下記配管例以外の施工をする場合は販売店にご相談ください。

床ころがしの場合

※集合住宅などに多いタイプです。
近接するシンクキャビネット背面に点検口を有する配管スペースがある場合

配管スペースが本機設置スペースの
右側にある場合は対称寸法とする

アングル型止水栓
（ハンドル式、固定ゴマタイプ）

●必ず固定ゴマタイプをご使用
ください。落しゴマタイプを
使用すると、水栓内でコマが
移動し、ゴトゴト音を生じる
おそれがあります。

配管スペース100以上

450以内

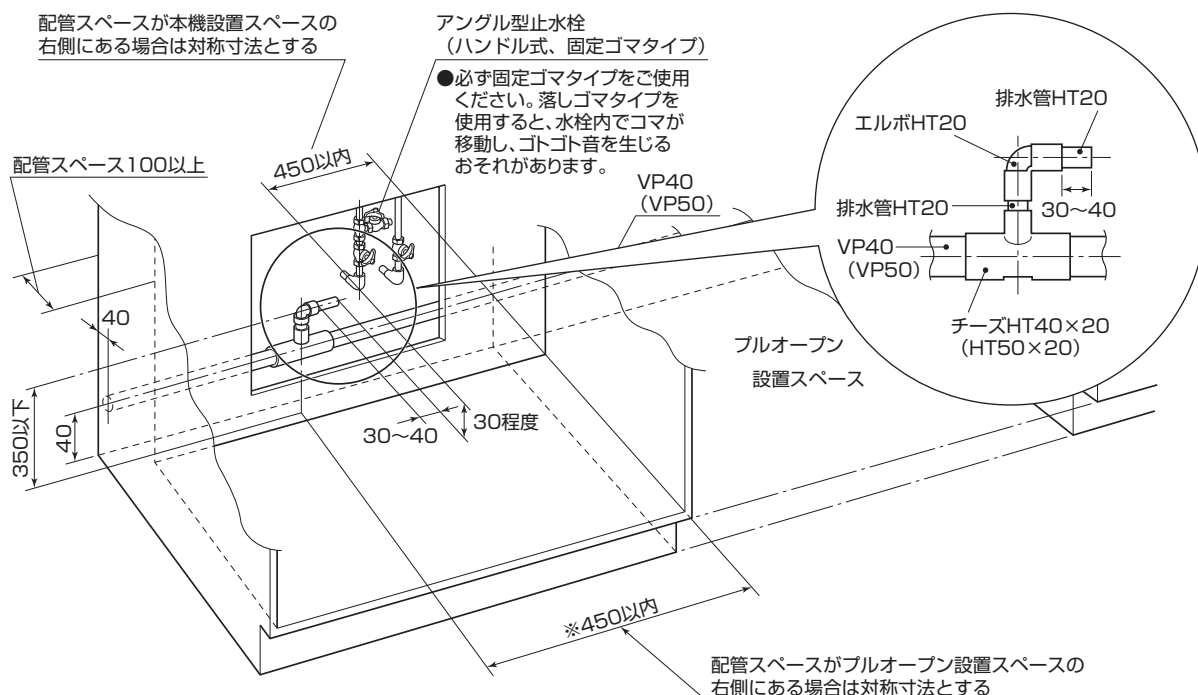
VP40
（VP50）

排水管HT20
エルボHT20
排水管HT20
30～40
VP40
（VP50）
チーズHT40×20
（HT50×20）

40
350以下
40
30～40
30程度

プルオープン
設置スペース

※450以内

配管スペースがプルオープン設置スペースの
右側にある場合は対称寸法とする

●食洗機の給水ホースが止水栓に当たる場合はフレキシブルホース（現地調達品）などを使用して当たらないようにしてください。

給・排水管の施工位置について

収納キャビネットの種類（ケコミ部まで引き出しがあるもの）によっては、給・排水管の位置は本機の据付説明書のものと異なる場合があります。

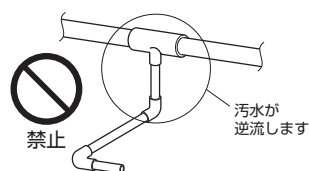
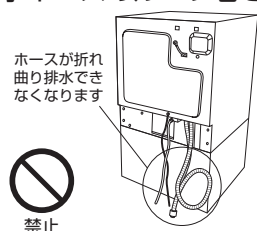
※ 必ず収納キャビネット側のカタログまたは施工図面、設置説明書などに基づいて施工願います。

悪い排水配管例や接続例

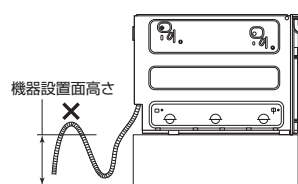
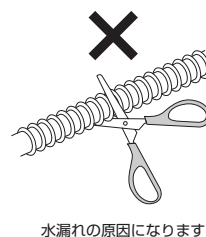
下図のような配管及び接続をすると、充分に排水できなかったり、機器に逆流したり、水漏れするおそれがありますので、絶対しないでください。

●チーズ下向け設置

禁止

汚水が
逆流します

●排水ホースのループ巻き接続

●排水ホースは機器設置面
より下側にする

●排水ホースは切断しない

水漏れの原因になります

4 電気工事について

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」にしたがって電気工事士が行ってください。

- 電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水管工事部分を避けた図の位置に埋め込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を接続します。
- コンセントは定格表示125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントを使用してください。（コンセントは壁面に必ず固定します）
- アース工事を必ず行ってください。（アースは法令上必要です）
- 200Vを使用すると、基板の電流ヒューズが切れ、使用できなくなります。無償保証できません。

⚠ 警告

交流 100V 以外では使用しない

火災・感電の原因

定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」にしたがって第二種電気工事士※が施工し、必ず専用回線を使用する

電源回路容量不足や施工不備があると、漏電・感電・火災の原因

アースを確実に取り付ける
アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」にしたがって第二種電気工事士※がD種接地工事を行う

- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- 接地（アース）工事に不備があると、漏電時に感電のおそれがあります。
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

※工場・ビル等への配置で、一定用件を満たす場合は第一種電気工事士

アース（接地）のしかた

- ■ 感電事故防止のため、必ずアースの取り付けをしてください。
- ■ 水気や湿気の多い所および屋外に設置する場合は、電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。（法令で規定されています）
  なお、水気のある場所では、このほかに必ず漏電遮断器を取り付けてください。
- ■ ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しないでください。（法令で禁止されています）
- ■ アース端子付きコンセントを利用される場合は、接地抵抗値（100Ω以下）をご確認ください。
- ■ 設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アース取り付けを行ってください。

※ご不明な点は販売店または電気工事店にご相談ください。

●アース端子付きコンセントを使用の場合

●アース棒を使用の場合

漏電遮断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電遮断器の設置が必要です。

※ なお、主幹に漏電遮断器が設けてある場合は、漏電遮断器を設置する必要はありません。

電源回路は、食器洗い機専用回路とし、他機器との併用はしないでください。

5 スペーサーの貼り付け

- ビルトイン後、本体が横方向に移動しないようにするため、同梱のスペーサーを本体の左右側面にしっかり貼り付けてください。
- 設置されている収納キャビネットの側面の高さにより、使用するスペーサーおよびその貼り付け位置が異なります。下表にしたがってスペーサーを選び、正しい位置に貼り付けてください。

収納キャビネットの形状	使用するスペーサー	貼り付け位置
側板が高い 側板 天板	5mm	本体の上端に合わせる 本体の前端に合わせる スペーサー （厚さ：5mm） ※外郭板金に貼る ※反対側にも貼る
側板が低い 側板 天板	21mm	隣接するキャビネット側板にスペーサーを貼り付ける ※反対側にも貼る 天板
		片側が加熱機器などで、キャビネットに貼り付け出来ない場合 本体の上端に合わせる 本体の前端に合わせる スペーサー （厚さ：21mm） ※外郭板金に貼る ※反対側にも貼る

5-1 据付前の作業

収納キャビネットの引き出しを取り外し、配管、配線が出来るようにする。

※収納キャビネット（引き出し）の外しかたは、キッチンの「取扱説明書」を参照してください。

5-2 設置前の作業

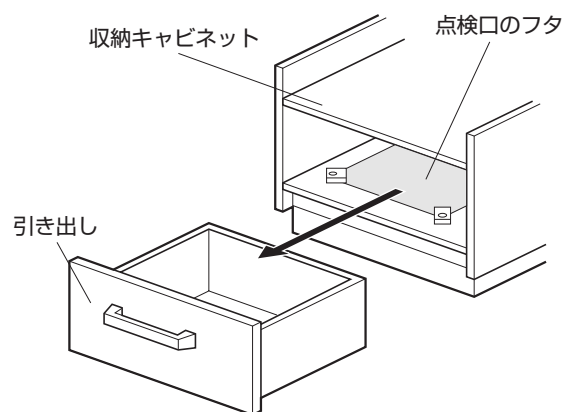
本機の設置予定場所に事前に設置されている収納キャビネットの構成部材の一部を取り外してください。

1 引き出しを取り外す

●引き出しを外すだけで内部に事前の配管が見える場合は、他に取り外す部材はありません。

2 引き出しを抜いた内部の底面に点検口のフタがあるものは、これを取り外す
(点検口の中に事前の配管が見えます)

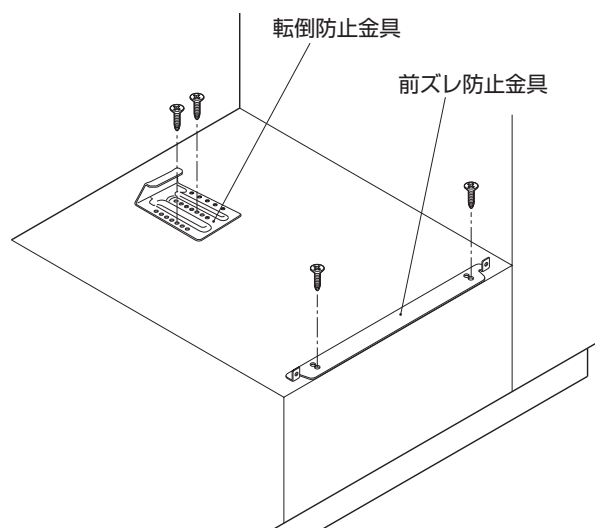
●1、2で取り外した引き出しおよび点検口のフタは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。

※ 収納キャビネットの構成が上記と異なる場合は、事前の配管が見えるようになるところまで部材を外してください。

6 据付手順

6-1 転倒防止金具、前ズレ防止金具の取り付け

● 転倒防止金具と前ズレ防止金具(同梱)を同梱の型紙を使い、この型紙に記載されている説明にしたがって各2本のネジ(同梱)で収納キャビネットに取り付けてください。

このとき、電動ドライバーは使わないで手締めしてください。(ネジ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります)

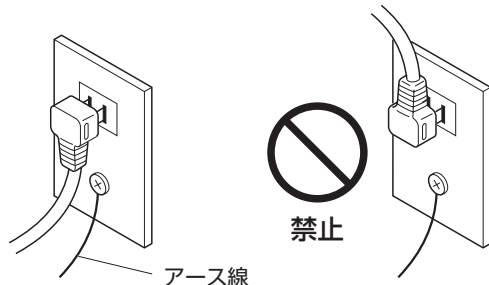
● 取り付け用ネジ(同梱)は、木製用(ネジ先がとがっている)と、金属用(ネジ先が平ら)を各4本据付キャビネットに応じて、使いわけてください。

お願い

ドアの取っ手を持って運搬や据付作業は行なわない

・取っ手部に大きな力が加わると、取っ手部が破損します。

6 据付手順（続き）

6-2 電源コード・アース線の接続

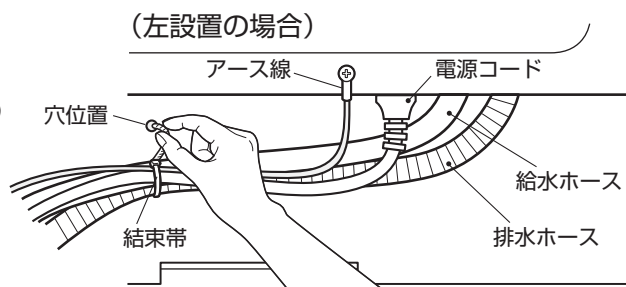
1 電圧が100Vであることを確認してから埋め込みコンセントに電源プラグを差し込む

● 200V電源に差し込むと、瞬時に故障します。

⚠ 警告

電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む

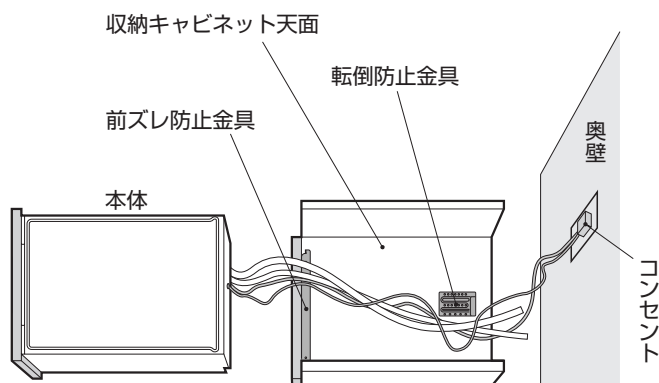
上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する原因

2 コード類を束ねる

※ 付属結束帯を穴に差し込み電源コード、アース線、給水ホース、排水ホースを付属の結束帯で束ねてください。

（左設置の場合）

● 右設置の場合は、束ねた結束帯は穴に差し込まない

3 アース線をアースターミナルに接続する

※ ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。
（法令などで禁止されています）

⚠ 警告

アースを確実に取り付ける
アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」にしたがって第二種電気工事士※がD種接地工事を行う

- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- 接地（アース）工事に不備があると、漏電時に感電のおそれがあります。
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

※工場・ビル等への配置で、一定用件を満たす場合は第一種電気工事士

⚠ 警告

電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない

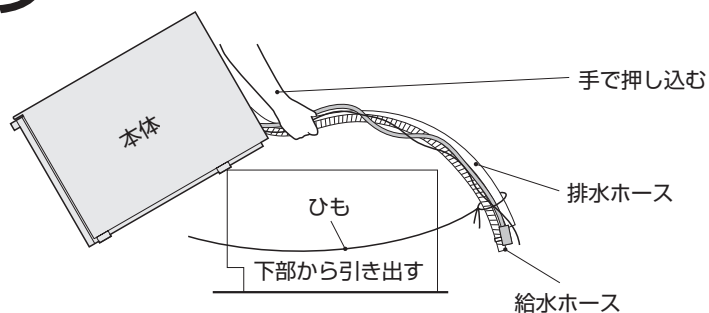
感電・漏電や火災の原因

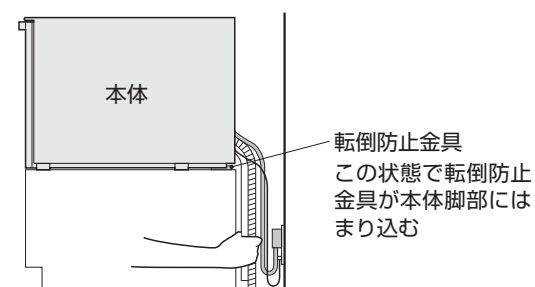
コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない

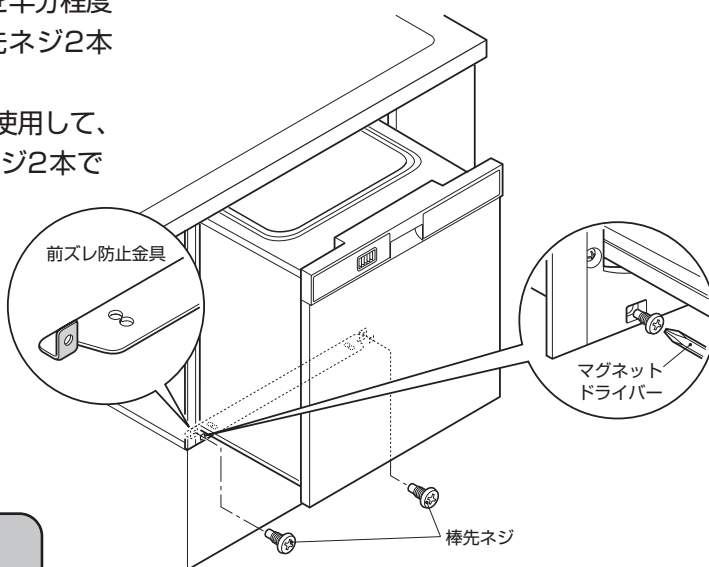
感電・漏電や火災の原因

6-3 本体のビルトイン

1 本体の後脚を収納キャビネットに載せ、前に傾けた状態で、給水ホースと排水ホースを下に押し込む

※ 排水ホースの先端を切って長さを調節しないでください。

2 本体前面左右のフランジ部（樹脂製）が収納キャビネットの側板の前面木口にあたるまで、本体を押し込む

※ 隣接する機器などに注意し、本体中央をゆっくり押してビルトインしてください。

3 本体をシンク内に設置した後、引出し部を半分程度引き出して本体とキャビネットを棒先ネジ2本（同梱）でネジ止めする
（ネジ止めには**マグネットドライバー**を使用して、本体下部の左右にある角穴より棒先ネジ2本で固定します）

警告

排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷つけない

感電・漏電・火災や水漏れの原因

※ 法令義務により、本機やキッチンの金属部分は、家屋の壁中のラスや金属板に、電気的に接触しないようにしてください。

※ 法令：電気設備の技術基準の解釈

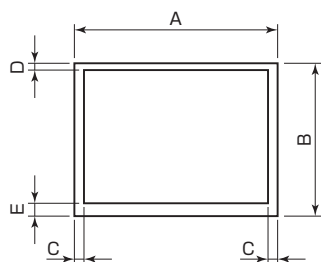
6 据付手順（続き）

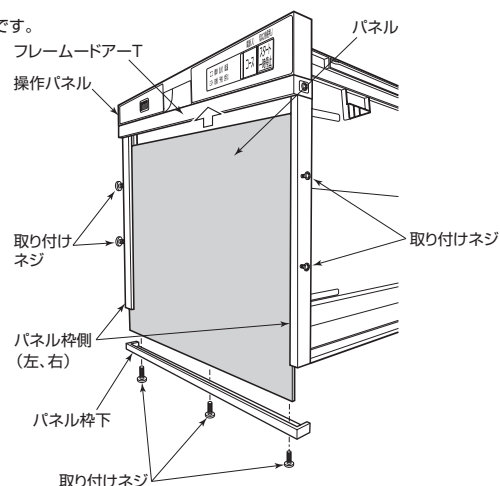
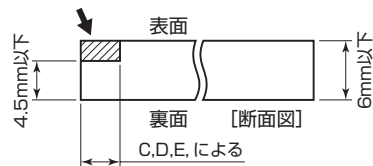
6-4 パネル(化粧板)／面材の取り付け

※ 機種形式により、パネル(化粧板)または面材を取り付けてください。

パネル(化粧板)の取り付け（EW-45H1S・EW-45V1S・EW-45R1Sの場合）

①ドアを少し引き出してください。
②パネル枠下取り付けネジ(３本)を外してパネル枠下を外してください。
③パネル枠側(左右)取り付けネジ(各2本)を緩めてください。
④パネルを操作パネルの溝に挿入してパネル枠側(左右)の取り付けネジを締め付けてください。
⑤パネル枠下を取り付けてください。
注意：電動ドライバーは使用しないでください。
パネル枠(樹脂)が変形するおそれがあります。

パネル(化粧板)の寸法

(単位：mm)

	寸　法
A	433±1
B	392.5±1
C	7
D	5
E	8.5

厚さ4.5mm以上6mmまでのパネルをご使用になる場合は、外周(斜線で指定した部分)の表面を、厚さ4.5mm以下になるようにけがきをし、カットしてください。

面材の取り付け(EW-45L1SM・EW-45H1SM・EW-45V1SM・EW-45R1SMの場合)

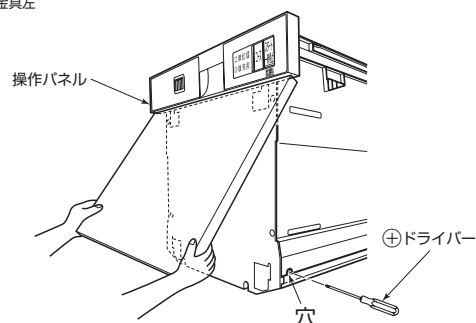
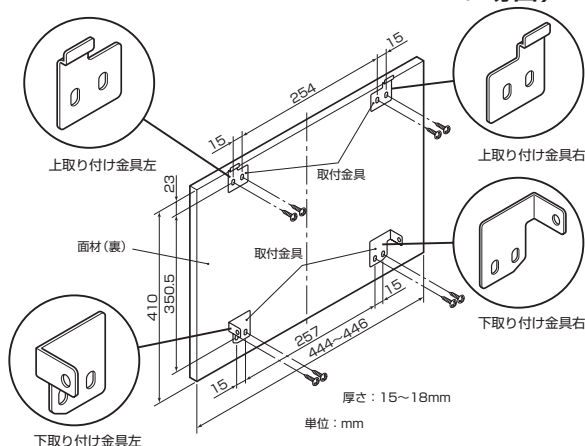
●面材は別売部品です。

1 面材取り付け金具を同梱の木製用ネジ(8本)で面材の下穴に合わせて固定する
●金具は面材の端面と平行になるように取り付けてください。
●金具に開けられた穴は長穴になっています。取り付け具合により調整を行ってください。

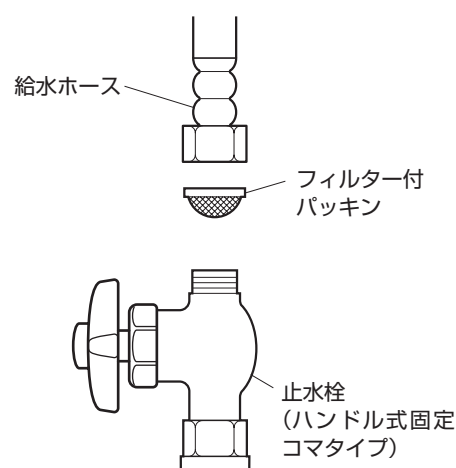
2 面材の上側を先に、下側を後でドアにはめ込む

3 ドアを少し引き出した後、面材を上に押し上げた状態で左右の穴から⊕ドライバーで面材が傾かないように締め付ける

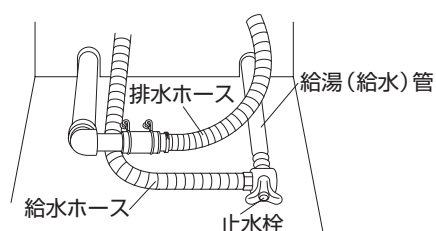
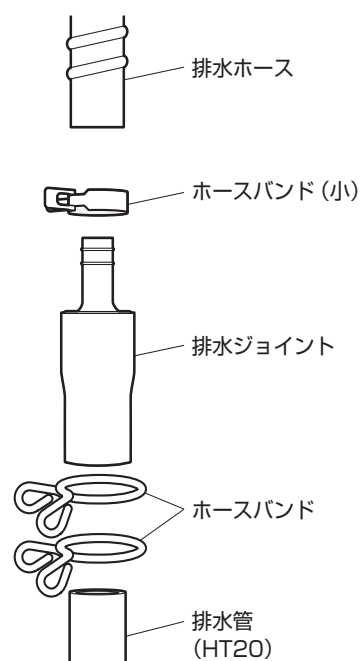
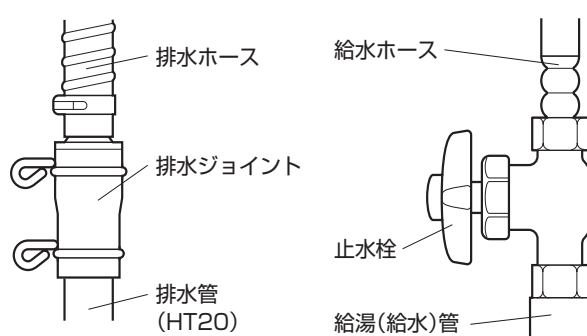
取り付けのポイント

状　況	対処方法
●操作パネルと面材に隙間が開く	●下取り付け金具をなるべく下側に取り付け直す（金具の長穴を使って）
●操作パネルと面材に斜めの隙間が開く	●上下の取り付け金具が面材の端面と平行に取り付けられていない ※平行になるように取り付け直す
●面材の上側にガタがある	●上取り付け金具をなるべく上側に取り付け直す（金具の長穴を使って）
●面材に下穴（取り付け金具用）が無い場合、φ2.5　深さ12mmの穴を精度良く開ける ●取り付け状態（隙間、曲がり）を確認してから、取り付け金具のネジを本締めする	

6-5 給湯（給水）管との接続

止水栓（ハンドル式、固定コマタイプ）にフィルターを入れ給水ホースを確実に接続します。
（フィルターは給水ホースにテープ止めされています）

※ ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。適正締め付けトルクは5～10N･m{50～100kgf･cm}です。
（締め付け作業は市販の工具（スパナなど）2本使用して締め付けてください）

6-6 排水ホースの接続

1. 排水管（HT20）に排水ジョイントを差し込み（30mm以上）、ホースバンドで止める
※接着剤使用禁止（保守時本体が取り外せない）

2. 排水ホースは、給水ホースの上を通るようにする（接続部が目視できるように）

※ 排水ホースに折れや、ねじれが無いことを確認してください。

・排水ホースを切断した場合は、無償保証できません。

7 部品取付方法

回転タワーノズル、残さいフィルター、小物入れ、下かご、上かごを定位置に取り付ける。

1 回転タワーノズル（図1）

洗浄槽の中央突起部に回転タワーノズルを差し込む

ロックなどはありません、取り付け後軽く回ることを確認してください。

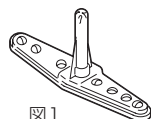



図1

2 残さいフィルター（図2）

洗浄槽左手前の湯わかしヒーター格納部に残さいフィルター取っ手が手前になるように取り付ける

溝からズレていないか確認してください。

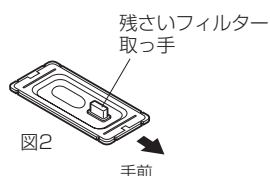



図2

回転タワーノズルと残さいフィルターを、図3のように取り付けてください。

図はEW-45Hシリーズ、EW-45Vシリーズのものです。

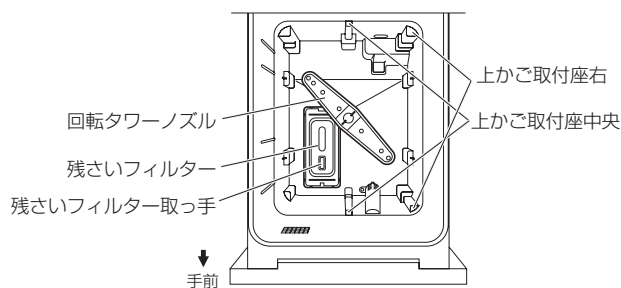



図3（洗浄槽内図）

3 下かご（図4）

下かごは、小物入れを取り付けたまま、小物入れが洗浄槽の奥側になるように取り付ける（図6参考）

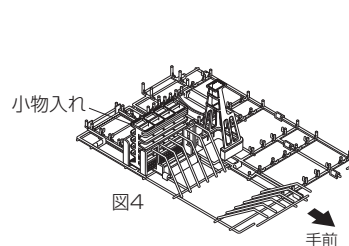



図4

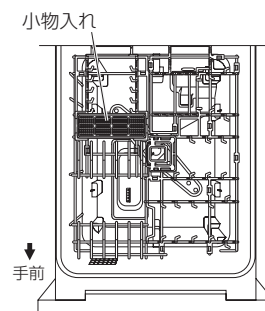



図6

4 上かご（図5）

洗浄槽中央および右側の突起部に掛かるように取り付ける
（図3、図7参考）

図5

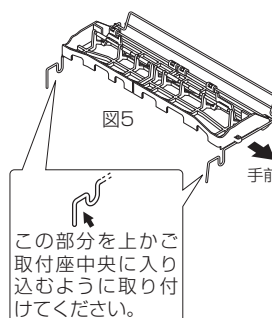
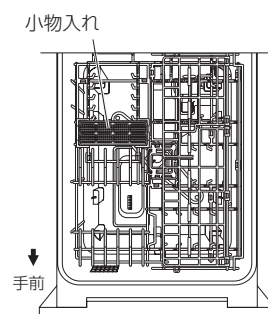
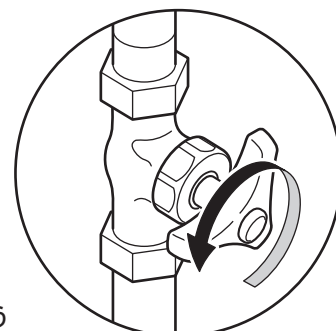



図7

8 試運転

- お客様(発注者様)立ち会いで試運転を行ってください。
- **据付終了後直ちに試運転を、必ず実施してください。**
  試運転を行わなかった場合、排水配管を通り下水ガスが食器洗い乾燥機に逆流し、においの原因や金属部品の腐食の原因になり、故障のおそれがあります。
  食器洗い乾燥機本体内部の排水経路に排水トラップが設けてあり、試運転を行うことによって、排水トラップ内に洗浄水を貯め封水し、下水ガスの逆流を防止することができます。

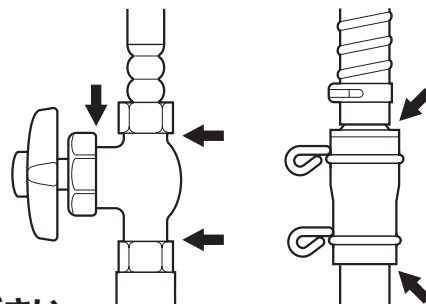
※ 本機への通電・通水が不可状態で試運転が行えない場合は、後に通電・通水が可能になった時に必ず試運転を行ってください。

※ 本機への通電がない場合は、止水栓は開けないでください。

操作手順		表示
EW−45L1シリーズ EW−45H1シリーズ エコ 標準 念入り 低温 ミスト 乾燥 予約 お手入れ （電源 入） コース （切は2秒長押し） スタート一時停止 ❶ ❷❸❹	❶「コース」キーを押し、電源がONの状態にする	標準 エコ ランプ点灯
	❷「スタート／一時停止」キーを6秒長押しする（2秒長押しした時点で「ピ」と音がし、ランプ表示が消えるがそのまま押し続ける）	標準 念入り 乾燥 ランプ点滅 （サービスモード表示）
	❸「スタート／一時停止」キーを押す	標準 念入り 乾燥 ランプが消灯し お手入れ ランプ点滅 （試運転モード表示）
	※ あやまって「コース」キーを押した場合、別のモードになります。ブレーカーを切り、再度 ❶ からやり直してください。	
	❹「スタート／一時停止」キーを押す	お手入れ ランプ点灯 （試運転モードスタート）
	※ 洗浄3分、乾燥2分を行い通常コース選択に戻る。（約8分の工程です。洗浄音と排気口風をご確認ください）	
EW−45V1シリーズ ミスト 標準 少量 念入り お手入れ 低温 乾燥 予約 （電源 入） コース （切は2秒長押し） スタート一時停止 ❶ ❷❸❹	❶「コース」キーを押し、電源がONの状態にする	標準 ランプ点灯
	❷「スタート／一時停止」キーを6秒長押しする（2秒長押しした時点で「ピ」と音がし、ランプ表示が消えるがそのまま押し続ける）	標準 少量 低温 ランプ点滅 （サービスモード表示）
	❸「スタート／一時停止」キーを押す	標準 少量 低温 ランプが消灯し お手入れ ランプ点滅 （試運転モード表示）
	※ あやまって「コース」キーを押した場合、別のモードになります。ブレーカーを切り、再度 ❶ からやり直してください。	
	❹「スタート／一時停止」キーを押す	お手入れ ランプ点灯 （試運転モードスタート）
	※ 洗浄3分、乾燥2分を行い通常コース選択に戻る。（約8分の工程です。洗浄音と排気口風をご確認ください）	
EW−45R1シリーズ お手入れ 標準 少量 念入り 点検 乾燥 予約 （電源 入） コース （切は2秒長押し） スタート一時停止 ❶ ❷❸❹	❶「コース」キーを押し、電源がONの状態にする	標準 ランプ点灯
	❷「スタート／一時停止」キーを6秒長押しする（2秒長押しした時点で「ピ」と音がし、ランプ表示が消えるがそのまま押し続ける）	標準 少量 乾燥 ランプ点滅 （サービスモード表示）
	❸「スタート／一時停止」キーを押す	標準 少量 乾燥 ランプが消灯し お手入れ ランプ点滅 （試運転モード表示）
	※ あやまって「コース」キーを押した場合、別のモードになります。ブレーカーを切り、再度 ❶ からやり直してください。	
	❹「スタート／一時停止」キーを押す	お手入れ ランプ点灯 （試運転モードスタート）
	※ 洗浄3分、乾燥2分を行い通常コース選択に戻る。（約8分の工程です。洗浄音と排気口風をご確認ください）	

8 試運転（続き）

8-1 確認項目

水漏れ確認

- 運転中、給・排水の接続部や止水栓、その他からの水漏れが無いことを充分確認してください。
- ドアを開け、庫内の水が排水されることを確認してください。（庫内に水が残っている場合は、排水ホースのつぶれ、ねじれが考えられます。排水ホースを点検し、不具合を直してください）

※ **試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。**
※ **本機への通電を切る場合は、止水栓を閉めてください。**
※ **お客様に引き渡すまでと長期間居住されない場合は、万が一の水漏れを防止するため、必ず家屋の元水栓を閉めてください。**

8-2 異常報知について

- 試運転でブザーが鳴り続け、表示部が点滅してる場合は、表の内容を確認してください。

EW-45L1シリーズ・EW-45H1シリーズ

表　示	原　因	処　置
エコ　標準　念入り　低温 ミスト　乾燥　予約　お手入れ	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。	● 電源スイッチを「切」にする。 ● 断水の場合は断水の回復を待って運転する。 ● 水道栓（元栓および収納キャビネット内の止水栓）は必ず開栓する。 ● 電源（ブレーカー）を切る場合は止水栓は必ず閉める。
エコ　標準　念入り　低温 ミスト　乾燥　予約　お手入れ	機内の水漏れ	● 修理が必要です。 ※ 止水栓（キャビネット内）を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。（修理完了までランプが点滅します） ● 電源（ブレーカー）を切らないでください。
エコ　標準　念入り　低温 ミスト　乾燥　予約　お手入れ	排水不良	● 排水ホースの折れなどを確認してください。 ● 排水しても水位センサーがOFFしません。 ● 修理が必要です。 ※ 止水栓（キャビネット内）を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。（修理完了までランプが点滅します）

EW-45V1シリーズ

表　示	原　因	処　置
ミスト　標準　少量　念入り お手入れ　低温　乾燥　予約	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。	● 電源スイッチを「切」にする。 ● 断水の場合は断水の回復を待って運転する。 ● 水道栓（元栓および収納キャビネット内の止水栓）は必ず開栓する。 ● 電源（ブレーカー）を切る場合は止水栓は必ず閉める。
ミスト　標準　少量　念入り お手入れ　低温　乾燥　予約	機内の水漏れ	● 修理が必要です。 ※ 止水栓（キャビネット内）を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。（修理完了までランプが点滅します） ● 電源（ブレーカー）を切らないでください。
ミスト　標準　少量　念入り お手入れ　低温　乾燥　予約	排水不良	● 排水ホースの折れなどを確認してください。 ● 排水しても水位センサーがOFFしません。 ● 修理が必要です。 ※ 止水栓（キャビネット内）を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。（修理完了までランプが点滅します）

EW-45R1シリーズ

表　示	原　因	処　置
お手入れ　標準　少量　念入り 点検　乾燥　予約	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。	● 電源スイッチを「切」にする。 ● 断水の場合は断水の回復を待って運転する。 ● 水道栓（元栓および収納キャビネット内の止水栓）は必ず開栓する。 ● 電源（ブレーカー）を切る場合は止水栓は必ず閉める。
お手入れ　標準　少量　念入り 点検　乾燥　予約	機内の水漏れ	● 修理が必要です。 ※ 止水栓（キャビネット内）を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。（修理完了までランプが点滅します） ● 電源（ブレーカー）を切らないでください。
お手入れ　標準　少量　念入り 点検　乾燥　予約	排水不良	● 排水ホースの折れなどを確認してください。 ● 排水しても水位センサーがOFFしません。 ● 修理が必要です。 ※ 止水栓（キャビネット内）を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。（修理完了までランプが点滅します）

● 上記の処置後、再度運転を行なってください。

● 上記以外の表示が出た場合は、取扱説明書のP29を参照ください。

8-3 試運転後の作業

P11「据付前の作業」で外した収納キャビネットの引き出しおよび点検口のフタなどを元の状態になるよう取り付けてください。

9 据付後の確認（チェックリスト）

据付が完了しましたら、下表にしたがってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。（機能が確保できないばかりか、安全性が確保できません）

	点　検	点 検 内 容	チェック
機器及びその周辺	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか。	
	転倒防止金具 前ズレ防止金具	転倒防止金具及び前ズレ防止金具は取り付けましたか。	
給湯（給水）・排水接続	給湯機との接続の場合	指定する給湯機に接続されていますか。（設定温度60℃以下）	
	フィルター	給水ホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	
	排水ホース	排水管との接続部と確実に接続したことを確認しましたか。 また、押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	
電気接続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグ125V　15A以上のアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。	
		アース線を接続しましたか。	
試運転		試運転を行い、正常に動作しましたか。	
試運転後		止水栓は、開けたままになっていますか。 （本機への通電を切る場合は、止水栓を閉めてください） お客様に引き渡すまでは、必ず家屋の元水栓を閉めてください。	

10 お客様への説明

●別冊の取扱説明書にしたがって、正しい使い方をご説明ください。
　とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
●ご使用になられるお客様がご不在の場合、発注者様（オーナー・ゼネコン）や管理人様へご説明ください。
●保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。
●この説明書は据付終了後、お客様へ必ずお渡しください。
●長期使用製品安全点検制度と所有者登録の方法を説明してください。
●お引き渡し時、お客様に止水栓の位置をお知らせください。
●ご使用の前に下記をご確認いただくようご説明ください。
　・ブレーカーは「入」にしてありますか？
　・止水栓は開いていますか？
　・給湯温度は60℃以下になっていますか？
　・「低温」コースは給湯温度を40℃以下に設定してください。

寒冷地で冬季に長期間ご使用にならない場合の水抜き方法（機内給水経路）

寒冷地で冬季に長期間ご使用にならない場合は、下記の水抜き方法を説明のうえ、この据付説明書をお渡しください。

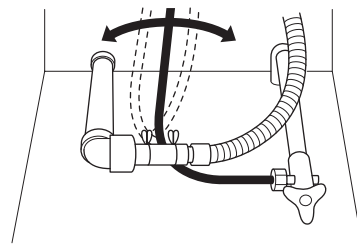
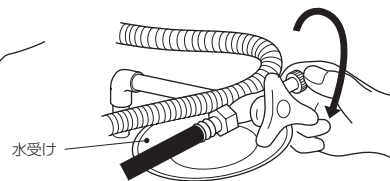
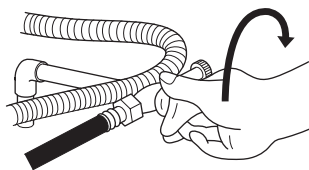
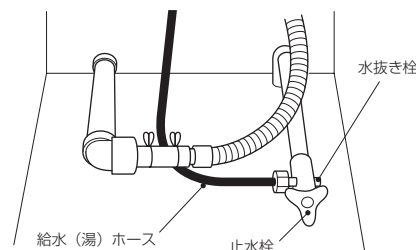
①止水栓を閉じる

②水抜き栓下部に水受けを置き、水抜き栓を取り外す
　●水受けは約100mlが受けられる皿またはタッパーを準備する。（高さ25mm以下）

③電源を「入」にし、スタートボタンを押す（給水弁が開放される）
　●運転は乾燥専用以外いずれも可。

④給水（湯）ホースを左右に振ったり、軽くたたく
　●水受けに残水が排出されてた後も水抜き栓開口部に乾いた布を押し当て、内部の水を吸いとる。
　（水滴が落ちなくなるまで）

⑤電源を「切」にし、排出水を処理する

⑥水抜き栓を取り付ける（必ず守ること）
　●止水栓は再使用するまで閉じたままにする。

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1

ZT790Z036H05